

緑の少年団 1年間の体験発表

(ブナのタネ採取とスギの枝打ち)

所属 ヒノキアスナロ緑の少年団

団長

高村桃子

書記

藤田 恵

はじめに

私たちのヒノキアスナロ緑の少年団は、昭和56年12月23日に誕生したので今年の12月で満20才になります。

緑の少年団の活動は大きく分けると、学習活動・奉仕活動・レクリエーション活動の3つになります。

森林のはたらきや、自然の中の鳥や、動物、昆虫などの観察・自然愛護の学習などから、森林の大切さを学び、自然との自由なふれあいを通じて、心と体をきたえ、人と社会を愛し、地域にしっかりと根をおろして心ゆたかな人間になることが目的です。

現在の団員は中学生を入れて40名です。

昨年の私たちの活動は 4月29日のみどりの日からスタートしました。

春の緑の募金活動、青森分局の植樹祭参加、八甲田山の清掃パトロール、地域の清掃(今年は森林博物館前の国道から、青森JR駅西口までのゴミ等拾い)、眺望山でのキャンプ学習、八甲田山でブナのタネ採取・調査、ライオンズクラブの森のスギの枝打ち体験、荒川小学校での田植え・収穫(稲の刈り取り)までの体験、その他青函交流など毎月1回か2回は行事の参加や活動、学習を行っています。冬には青森県の青年の家で樹木の冬芽を観察しながら、1年間の反省会と勉強会を開いています。

以上が主な活動や学習ですが、スライドで紹介します。

N01 は、夏に行われたキャンプです。



N02 は、キャンプの翌日、日影に集合して学習しているところです。
昆虫や小動物の話、植物の標本の作り方などの話を聞きました。



次はライオンズクラブのスギの枝打ちのスライドです。

N03 は、のこぎりで枝を切っている団員です。



N04 は、自動枝打ち機がラジコンにより枝を切って上っているところです。

森林組合の人の説明によると、この枝打ち機は62万円するそうです。人の4倍か5倍も仕事をし、伐採する前の枝打ちにもむいているそうですが、ただ、曲がった木はなかなかむずかしいそうです。一人でもできるが、二人で作業をし安全には十分気をつけているという、説明を受けました。



次にブナのタネの採取のスライドです。

N05 は、ブナのタネを採取する木で、胸高直径103 cm、樹高24mで樹齢120 年は超えているそうです。



N06 は、木の枝のまじりにシードトラップ（あみ）をかけているところです。（1×1 mのあみです）。

あみが5個よりないので、360度を5等分して幹からコンパスで角度をきめ、木の枝の下までの距離を計り、そこにあみをかけました。



N07 は、これはあみの中にブナのタネや枯れ葉が落ちているところです。

あみが風で飛ばないように、ちょっと太い枯れ枝などを入れておきます。

（10月14日）



N08 は、これは枯れ葉や、小枝を取り除いてタネが残ったところです。

枯れ葉が雨などでぬれてタネがくっついていけないように、注意しながら枯れ葉を取り除きます。(10月14日)



N09 は、一昨年、分局で植樹祭をした場所にブナのタネをまきつけしたが、タネが古く芽が出なかったので、10月22日に採取した591粒のタネと川砂を混ぜて11月12日に再度まき付けしているところです。この夏、芽が出ているか楽しみです。

また、ねずみに食われたり、雪どけ水でタネが流されはしないかとちょっぴり不安もあります。



N010は、11月12日、雪の中で最後のタネの採取です。

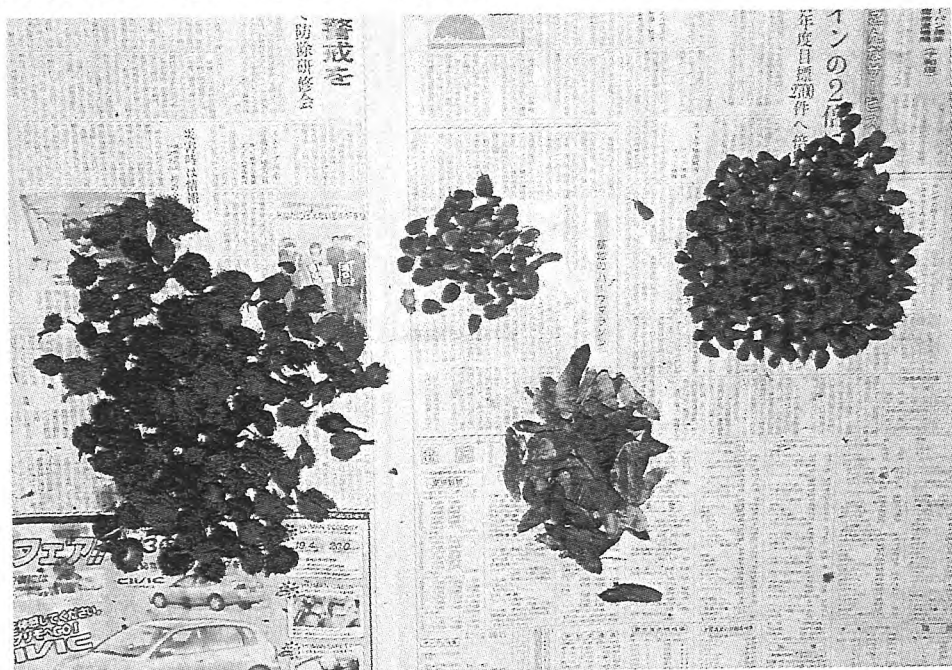
雪は、15cmほどありたいへん寒く、また、あみの中の雪をとるのにたいへんでした。



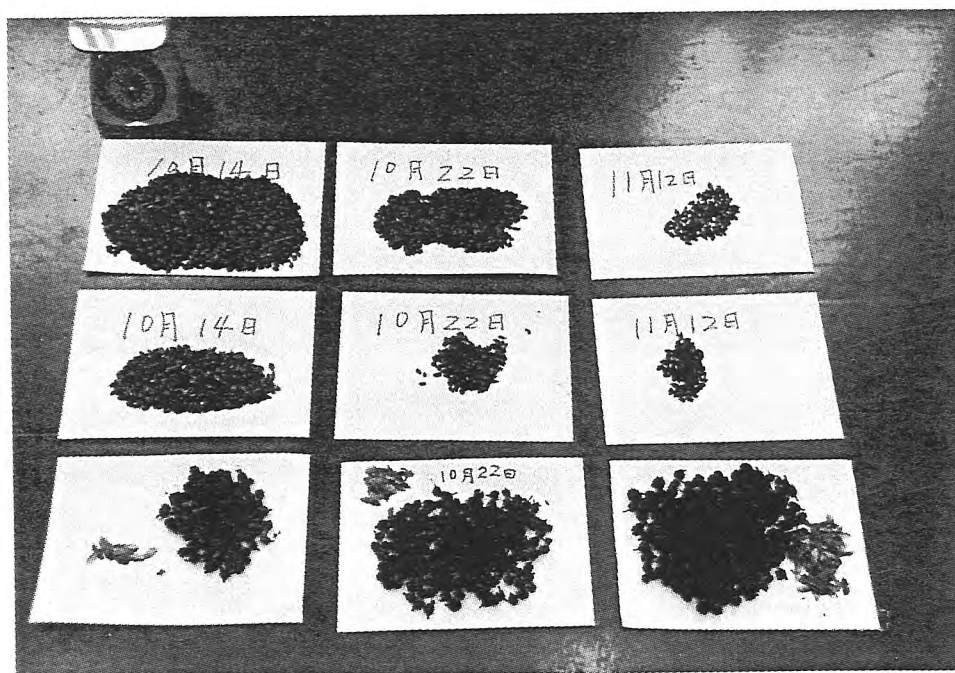
N011は、採取したタネを持ち帰って育成会の人たちにも手伝ってもらい、森林博物館でよいタネと虫くい、しいなを分けているところです。タネを選ぶ時は、バケツの中の塩水に入れて沈んだタネを良いタネとしました。



N012は、良いタネ、しいな、虫くい、他の木のタネ（カエデ科）に分けたところです。



N013は、日付ごとに集計したところです。



このブナの木に、タネがどのくらいついたのか推定してみました。

1. 別紙の種子量調査表より、あみ1個に落ちたタネの平均は、
 $4, 227 \div 5 = 84.5$ 4粒となります。
2. このブナの枝の張っている面積は、あみを付けた5個の点を結んで計ると132
 m^2 となります。（別紙図面）

3. $132 \text{ (m}^2\text{)} \times 845 \text{ (粒)} = 111,540$ 粒のタネがついたことになります。
このうち、よいタネは、 $3,123 \div 4,227 = 73.8\%$ ですから82,316粒のタネが、このブナの木についたよいタネとなります。

まとめ

1年間の体験の中でとくに感じたことをまとめてみました。

◎春の緑の募金活動は結成以来継続して行っています。

今年も合浦公園で2時間くらいの活動をしました。21,950円の募金がありました。

子どもとお父さん、お母さんとおじいさん、おばあちあんたちが数多く募金してくれました。パンフレットで、今までの募金の使い道を説明すると「頑張ってください」と声をかけて来る人が多くなっています。

この緑の募金が25年からスタートして今まで学校や福祉施設、公園などに植えられた苗木は6億本をこえているそうです。緑の羽根が日本の緑に大きく関係していることがわかりました。平成に入ってから100億本を目標に立てて運動していることを聞いて、私たちも緑と環境を守るためにがんばりたいとおもいます。

◎難民の人に食料を送るための米づくりに参加しましたが、10アール当たり600kg取れる水田で、有機栽培で農薬を使用しない米をつくるため、稲の苗をみんなで泥まみれになりながら植えました。

現在、世界の人口が60億人でその中の10億人の人達が食料不足や栄養不足で病気になったり、死んでいるそうです。12年度は青森県として、30kg入れの米を50袋、北朝鮮へ送ることになり、私たちが手伝った米は、新潟の港までトラックで運ばれました。

今回、アキタコマチの苗を植えましたが、青森のツガルロマンをなぜ植えないのかと聞いてみたら、ツガルロマンは、アキタコマチを交配したものだと教えてもらいました。

◎スギの枝打ちについて

分収造林でもあるライオンズクラブの森で、スギの枝打ちを初めて体験しました。

枝打ちは、スギ林に陽の光を入れたり、風とおしをよくして森林を病気や害虫から守り、良い木材を作ることを教えてもらいました。

枯れ枝を残しておくこと死節といって、木材にした時にそこが穴となったり、枯れ枝の元からスギノアカネトラカマキリという害虫の幼虫が入り、幹の中を食害して木材が使用することができなくなることを学びました。枝打ちが大変大事な作業だと思いました。枝打ちをしたら林の中が明るくなって気持ちがよかったです。

◎ブナのタネの採取について

今年ブナのタネの豊作の年だと聞きました。タネの豊作は5~7年に1度だといわれるそうなので、次の豊作の年まで続けたいとおもいます。

今年採取した残りのタネを川砂とまぜて冷蔵庫に保管していますが、春にはタネをま

いてブナの苗木をつくり、また山に植えたいとおもいます。

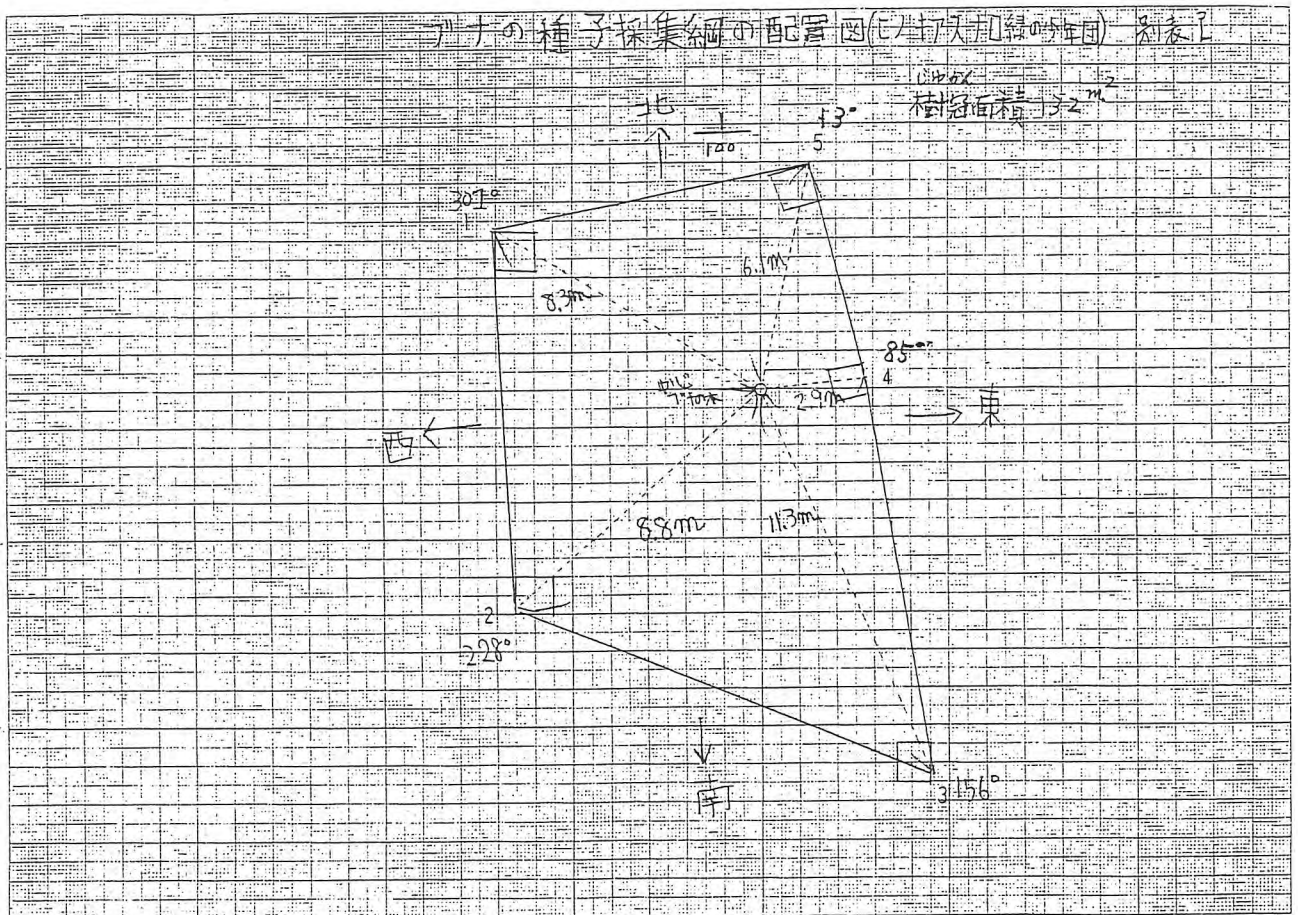
また、木から落ちたブナのタネが林の中で、どのように芽をだして成長するのかをじっくり観察し、記録したいとおもいます。

おわりに

私たちヒノキアスナロ緑の少年団は、青森市の八甲田山から流れる駒込川の水が「日本一おいしい水」に選ばれてから、水と森林の関わりを中心に体験をつんできました。

私たちの沖館小学校でも、「三内丸山の昔の暮らし」や、「沖館川の将来について」や、「森林についてもっと知り、地球に優しくらしについて」や、「土の中はどうなっているのか」などのテーマで、学年ごとに学習にとりこんでいます。私たち団員は、学習で学んだことを基礎として、さらに自然の中で体験しながら勉強したいとおもいます。

この発表のためにご指導いただいた東北森林管理局青森分局や青森森林管理署、沖館小学校の先生方にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。これで発表を終わります。



採取月日	1				2				3				4				5				
	14/10	22/10	5/11	12/11	14/10	22/10	5/11	12/11	14/10	22/10	5/11	12/11	14/10	22/10	5/11	12/11	14/10	22/10	5/11	12/11	
種	健全	222	115	74	17	198	116	110	34	577	164	68	28	764	31	77	13	291	165	43	16
	しいな	69	26	38	9	40	33	51	17	131	17	57	28	298	18	61	14	55	71	2	10
	虫くい等	3	3	3	2	0	2	4	2	8	1	3	0	11	1	6	0	0	9	1	0
	小計	294	144	115	28	238	151	165	53	716	182	128	56	1,073	50	144	27	346	245	46	26
子	ほかの種	3	6	18	7	0	5	9	5	0	0	6	10	0	2	35	28	11	8	31	19
	殻斗	11	28	23	67	17	68	36	56	30	15	32	47	31	15	29	53	16	63	43	15

採取月日	小計				計	
	14/10	22/10	5/11	12/11		
種	健全	2,052	591	372	108	3,123
	しいな	593	165	209	78	1,045
	虫くい	22	16	17	4	59
	小計	2,667	772	598	190	4,227
子	ほかの種	14	21	99	69	203
殻斗	105	189	163	238	695	

- 注) 1. $1\text{ m} \times 1\text{ m}$ の網を5個を図のように木の枝の真下に設置した。
 2. 網を設置したブナの木の胸高直径は103cm、樹高24mでした。
 3. このブナの木に、ブナの種子がどれぐらいついたのか概数を推定してみると以下となる。
 ア 1個に落ちた種子の平均は $4,227 \div 5 = 845.4$ 粒となります。
 イ このブナの木の樹冠の面積は、約132㎡あります。(図面より)
 よって $132 \times 845 = 111,540$ 粒の種子がついて、このうちの73.8%の82,316粒が健全な種子となります。
 4 16/9はブナの種子の落下はなかった。
 5 表の“ほかの種”はカエデ科ものです。